

授業計画書(シラバス)

教科名	コールドワーク I	曜日 時間	火: 9:10~15:50	担当教員名	准教授 ヴァーツラフ・レザーチュ
(年 2 間 7 授 回 業 日)	前期指導案			後期指導案	
	4月	16 23		10月	8 15 22 29
	5月	7 14 21		11月	5 12 26 29
	6月	4 11 18 25		12月	3 10 17
	7月	2 9 16		1月	14 21 28
9月	3		2月		
方授 法業	(講義 ・ 実技)			(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	<p>日常にある瓶を使って飲み物用のガラスの制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大型切断機でのカット 2. 平板での研磨 3. ガラスの角の面取り 4. 飲み口の磨き 5. 底面の研磨 6. ガラスの表面の模様の下書き 7. サンドブラストでの模様制作 8. ガラスの接着 9. ウォーターサンダーを使っての研磨 <p>ボヘミアン模様制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伝統的な模様を研磨 2. 模様の下書きと練習 3. 模様を研磨 4. 表面の磨き 5. 研磨と磨きの技術向上 6. 課題(自分の好きな音楽または作家-リズム、メロディー、雰囲気、色、構成) <p>ガラスの立方体制作(7x7x7cm)</p>			<p>題: Metamorphosis 課題: ガラスのボウルへの模様制作 テーマ: 創造の無限性 制作手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 吹き場でのボウルの制作 2. 模様を研磨 3. 完成したボウルを除冷炉へ投入 4. 除冷炉から取り出したボウルを吹き新たに形作る 5. 表面に新たな模様をいれる 	
到達 目標	コールドショップでの基本の技術を習得する。またその他の場所やワークショップで行われている技術を学ぶ。学んだ技術を芸術的表現へと活かす。講義を通してアート、工芸、プロダクト、建築などにおけるガラスのさまざまな要素について話し合いながら考える。			コールドショップでの基本の技術を習得する。またその他の場所やワークショップで行われている技術を学ぶ。学んだ技術を芸術的表現へと活かす。講義を通してアート、工芸、プロダクト、建築などにおけるガラスのさまざまな要素について話し合いながら考える。	
成績 基準 評価	出席率、意欲的な学習態度、チームでの共同作業に対する参加意欲、積極的な授業への参加、課題の完成度。			出席率、意欲的な学習態度、チームでの共同作業に対する参加意欲、積極的な授業への参加、課題の完成度。	
留意 事項	作業中は必ず防護メガネと靴、ゴム手袋をつけること。長い髪はしばること。作業中は常に自身とクラスメイトの安全を確保しながら、作業すること。特に、研磨機の安全性への配慮ができるようにすること。			作業中は必ず防護メガネと靴、ゴム手袋をつけること。長い髪はしばること。作業中は常に自身とクラスメイトの安全を確保しながら、作業すること。特に、研磨機の安全性への配慮ができるようにすること。	